

### 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ

本工事は、「石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告」  
労働安全衛生法第88条第3項(労働安全衛生規則第90条第五号の二)の規定による計画の届出、大気汚染防止法第18条の17第1項の規定による作業実施の届出  
を行っております。  
石綿障害予防規則第3条第8項及び大気汚染防止法第18条の15第5項及び同法施行規則第16条の4第二号の規定により、解体等の作業及び建築物の特定粉じん排出等作業について  
以下のとおり、お知らせします。

事業場の名称：			
届出先及び 届出年月日	労働基準監督署 都・道・府・県 市・区	令和 年 月 日 令和 年 月 日	発注者または自主施工者 氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)
	調査終了年月日	令和 年 月 日	住所
	看板表示日	令和 年 月 日	
解体等工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
石綿除去(特定粉じん排出)作業等の作業期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
調査方法の概要(調査箇所)			元請業者(工事の施工者かつ調査者)
【調査方法】 <input type="checkbox"/> 書面調査 <input type="checkbox"/> 目視(現地)調査 <input type="checkbox"/> 分析調査 【調査箇所】			氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)  住所
調査結果の概要(部分と石綿含有建材(特定建築材料)の種類、判断根拠)			現場責任者氏名： 連絡場所 TEL：
【石綿含有あり】			を石綿作業主任者に選任しています。
【石綿含有なし】○数字は右下欄の「その他の事項」を参照			調査を行った者(分析等の実施者)
石綿除去等作業(特定粉じん排出等作業)の方法			氏名又は名称及び住所 事前調査・試料採取を実施した者
石綿含有建材(特定建築材料)の処理方法	除去 ・ 囲い込み ・ 封じ込め ・ その他		分析を実施した者
集じん装置・排気機 機種・型式・設置数			
排気能力(m <sup>3</sup> /min)			
使用するフィルタの種類及びその集じん効果(%)			
使用する資材及びその種類			その他の事項
その他の石綿(特定粉じん)の排出又は飛散の抑制方法			調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された○数字は、以下の判断根拠を表す ①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日
備考：その他の条例等の届出年月日			

### 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ

本工事は、「石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告」<sup>注)</sup>労働安全衛生法第88条第3項(労働安全衛生規則第90条第五号の二)の規定による計画の届出、大気汚染防止法第18条の17第1項の規定による作業実施の届出を行っております。  
 石綿障害予防規則第3条第8項及び大気汚染防止法第18条の15第5項及び同法施行規則第16条の4第二号の規定により、解体等の作業及び建築物の特定粉じん排出等作業について以下のとおり、お知らせします。

事業場の名称：○○○○解体工事業所			
届出先及び届出年月日	東京○○ 労働基準監督署 東京 (都) 道・府・県 ○○市 (区)	令和○○年○○月○○日 令和○○年○○月○○日	発注者または自主施工者 氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名) ○○不動産(株) 代表取締役社長 ○○○○
	調査終了年月日 看板表示日	令和○○年○○月○○日 令和○○年○○月○○日	住所 東京都○○区○-○
解体等工事期間	令和○○年○○月○○日 ~ 令和○○年○○月○○日		
石綿除去(特定粉じん排出)作業等の作業期間	令和○○年○○月○○日 ~ 令和○○年○○月○○日		
調査方法の概要(調査箇所)			元請業者(工事の施工者かつ調査者)
【調査方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 書面調査 <input checked="" type="checkbox"/> 目視(現地)調査 <input checked="" type="checkbox"/> 分析調査 ← 【調査箇所】 建築物全体(1階~4階) ※改修等の場合は、改修等を実施するために調査した箇所を記載する。 (例) 1階機械室(改修等工事対象場所)			氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名) ○○建設株式会社 代表取締役社長 ○○○○ 住所 東京都○○区○-○
調査結果の概要(部分と石綿含有建材(特定建築材料)の種類、判断根拠)			現場責任者氏名：○○○○ 連絡場所 TEL：03-xxxx-xxxx
【石綿含有あり】 1階 機械室 吹付け石綿 クリソタイル 1階 機械室 保温材(石綿含有とみなし) エレベーターシャフト 吹付け石綿 クリソタイル 【石綿含有なし】○数字は右下欄の「その他の事項」を参照 1~4階 トイレ内PS 保温材③ 1~4階 床：ビニル床タイル③、天井：フレキシブルボード④ その他の建材④⑤			○○○○を石綿作業主任者に選任しています。
石綿除去等作業(特定粉じん排出等作業)の方法			調査を行った者(分析等の実施者)
石綿含有建材(特定建築材料)の処理方法	除去・囲い込み・封じ込み・その他		氏名又は名称及び住所 事前調査・試料採取を実施した者 特定建築物石綿含有建材調査者 ○○環境(株) 氏名○○○○ 登録番号○○○○ 住所 東京都○○区○○-○○
集気装置・排気	機種・型式・設置数 排気能力(m <sup>3</sup> /min) 使用するフィルタの種類及びその集じん効果(%)		分析を実施した者 ○○環境分析センター 氏名○○○○ 登録番号○○○○ 住所埼玉県○○市○○-○○
使用する資材及びその種類	・湿潤用薬液：○○○○ ・固化用薬液：○○○○ ・隔離用シート(厚さ：床○mm、その他○mm) ・接着テープ 等		その他事項
その他の石綿(特定粉じん)の排出又は飛散の抑制方法	(例) ・配管エルボ部の石綿含有保温材を、石綿非含有の直管部で切断して撤去する方法 (例) ・設備配管の石綿含有保温材をグローブバッグで部分隔離をし除去する方法		調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された○数字は、以下の判断根拠を表す ①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日
備考：その他の条例等の届出年月日			
○○区建築物の解体工事等に関する要綱(令和○○年○月○日届出)			

注)工事に係る部分の床面積の合計が80m<sup>2</sup>以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修等工事等の場合



### 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ

本工事は、石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告を行っております。<sup>注)</sup>  
 石綿障害予防規則第3条第8項及び大気汚染防止法第18条の15第5項及び同法施行規則第16条の4第二号の規定により、解体等の作業及び建築物の特定粉じん排出等作業について以下のとおり、お知らせします。

事業場の名称：〇〇〇〇解体工事作業所		発注者または自主施工者	
調査終了年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)	
看板表示日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇開発(株) 代表取締役社長 〇〇〇〇	
解体等工事期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 令和〇〇年〇〇月〇〇日	住所	
石綿除去(特定粉じん排出)作業等の作業期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 令和〇〇年〇〇月〇〇日	東京都〇〇区〇-〇	
調査方法の概要(調査箇所)		元請業者(工事の施工者かつ調査者)	
【調査方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 書面調査 <input checked="" type="checkbox"/> 目視(現地)調査 <input checked="" type="checkbox"/> 分析調査 【調査箇所】 建築物全体(1階~3階)		氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名) 〇〇建設株式会社 代表取締役社長 〇〇〇〇 住所 東京都〇〇区〇-〇	
調査結果の概要(部分と石綿含有建材(特定建築材料)の種類、判断根拠)		現場責任者氏名：〇〇〇〇 連絡場所 TEL：03-xxxx-xxxx	
【石綿含有あり】 外壁 石綿含有仕上塗材 クリソタイル 1階 軒天 石綿含有けい酸カルシウム板第1種 クリソタイル 2階 事務室・会議室A 床 ビニル床タイル クリソタイル 2階 給湯室 天井 フレキシブルボード クリソタイル 【石綿含有なし】○数字は右下欄の「その他の事項」を参照 1階 倉庫 吹付けロックウール ③ 1~3階 床：ビニル床シート⑤、壁：けい酸カルシウム板第1種④ 天井：岩綿吸音板③ その他の建材④⑤		〇〇〇〇を石綿作業主任者に選任しています。	
石綿除去等作業(特定粉じん排出等作業)の方法		調査を行った者(分析等の実施者)	
石綿含有建材(特定建築材料)の処理方法	除去 ・ その他	氏名又は名称及び住所 事前調査・試料採取を実施した者 一般建築物石綿含有建材調査者 〇〇環境(株) 氏名〇〇〇〇 登録番号〇〇〇〇 住所 東京都〇〇区〇〇-〇〇	
特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法	石綿含有成形版等 (例)フレキシブルボードは原形のまま取り外す。ビニル床タイルは湿潤化しながらバール等で除去を行う。石綿含有けい酸カルシウム板第1種は作業場を養生シートで隔離(負圧不要)し、湿潤化しながらバール等で除去を行う。 石綿含有仕上塗材 (例)剥離剤併用手工具ケレン工法。外周を養生シートで養生(隔離)し、除去を行う。	分析を実施した者 〇〇環境分析センター 氏名〇〇〇〇 登録番号〇〇〇〇 住所 埼玉県〇〇市〇〇-〇〇	
使用する資材及びその種類	・湿潤用薬液：〇〇〇〇 ・剥離剤：〇〇〇〇 ・養生用シート(厚さ：〇mm) ・接着テープ 等	その他事項	
備考：その他の条例等の届出年月日	調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された○数字は、以下の判断根拠を表す ①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日		
〇〇区建築物の解体工事等に関する要綱(令和〇〇年〇月〇日届出)			

注)工事に係る部分の床面積の合計が80m<sup>2</sup>以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修等工事等の場合

## 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ

本工事は、石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告を行っております。  
労働安全衛生法、石綿障害予防規則、大気汚染防止法及び条例等に基づく調査結果をお知らせします。

事業場の名称：

調査終了年月日	令和 年 月 日	元請業者(解体工事の施工者かつ調査者)
看板表示日	令和 年 月 日	氏名又は名称(法人にあつては代表者の氏名)
解体等工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
調査方法の概要(調査箇所)		
【調査方法】 <input type="checkbox"/> 書面調査 <input type="checkbox"/> 目視(現地)調査 <input type="checkbox"/> 分析調査		住所
【調査箇所】		
調査結果の概要(部分と石綿含有建材(特定建築材料)の種類、判断根拠)		現場責任者氏名：
		連絡場所 TEL：
		調査を行った者(分析等の実施者)
		氏名又は名称及び住所
		事前調査・試料採取を実施した者
		分析を実施した者
		その他事項
		調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された○数字は、以下の判断根拠を表す ①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日

### 建築物等の解体等の作業に関するお知らせ

本工事は、石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告を行っております。<sup>注)</sup>  
 労働安全衛生法、石綿障害予防規則、大気汚染防止法及び条例等に基づく調査結果をお知らせします。

事業場の名称：〇〇〇〇解体工事作業所

調査終了年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	元請業者(解体工事の施工者かつ調査者)
看板表示日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	氏名又は名称(法人にあっては代表者の氏名)
解体等工事期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 令和〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇建設株式会社(株) 代表取締役社長 〇〇〇〇
調査方法の概要(調査箇所)		住所 東京都〇〇区〇-〇
【調査方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 書面調査 <input checked="" type="checkbox"/> 目視(現地)調査 <input checked="" type="checkbox"/> 分析調査 ※建物の着工日で石綿含有なしを判断した場合は、書面調査のみとなる 【調査箇所】 建築物全体(1階~3階)		
調査結果の概要(部分と石綿含有建材(特定建築材料)の種類、判断根拠)		現場責任者氏名：〇〇〇〇
石綿は使用されていませんでした。(特定工事に該当しません) 【石綿含有なし】〇数字は右下欄の「その他の事項」を参照 1~3階 床：ビニル床タイル③ ビニル床シート③ 天井：岩綿吸音板③、けい酸カルシウム板第1種③ 壁：スレートボード⑤ 外壁：仕上塗材③ ※建築物の着工日で石綿含有なしを判断した場合の例 建築物の着工日が2006年9月1日以降⑤		連絡場所 TEL： 03-xxxx-xxxx
		調査を行った者(分析等の実施者)
		氏名又は名称及び住所
		事前調査・試料採取を実施した者 日本アスベスト調査診断協会登録者 氏名〇〇〇〇 会員番号〇〇〇〇 住所 東京都〇〇区〇〇-〇〇
		分析を実施した者 〇〇環境分析センター 代表取締役社長 〇〇〇〇 氏名〇〇〇〇 登録番号〇〇〇〇 住所 埼玉県〇〇市〇〇-〇〇
		その他事項
		調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された〇数字は、以下の判断根拠を表す ①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日

注)工事に係る部分の床面積の合計が80m<sup>2</sup>以上の建築物の解体工事、請負金額100万円以上の建築物の改修等工事等の場合